

今年度、「青空の広がる東中生」を合言葉に様々な取り組みを始めました。



特に、「**地域へ出よう、地域で貢献しよう**」と発信型のボランティア活動も行っており、先日は近隣の2小学校の運動会にボランティアとして参加し、運動会が終わった後の片づけをさせていただきました。

学校で「運動会ボランティア募集」を呼びかけたところ、あっという間に定員を越えたため、申し込みを締め切りました。

当日の生徒の様子について、本校の教員の一人が毎週提出する「週案簿」に詳しく書いていましたので、そのまま転載します。

5月に実施できた小学校の運動会ボランティアは、**とても手ごたえを感じたものになりました。**

まず一つ目は、参加希望生徒全員が時間までに集合できました。当たり前のことかもしれませんが、できない時はこれがなかなか難しいことです。

二つ目は、何と言っても**生徒たちの動きが良かった**。三和小の〇〇先生から「見ていてこちらが気持ちよくなりました。もっといろいろなことができそうな子たちですね。中学生ってすごいですね」とおっしゃっていただきました。室場小の〇〇先生からは「中学生のおかげで、**あっという間に作業が終わり、ほんとうにありがとうございました。中学生の動きはさすがですね。**」という言葉をいただきました。

「あのコーンも片づけたほうがいいんじゃない」「グラウンドの目印も外しに行っていていいですか」など、**声をかけ合いながら**、時には小学校の先生に自分から尋ねたりして動く、**たくましくたのもしい姿がありました**。

暑くて大変な部分もありましたが、**すてきな東中生の姿を見られたのは幸せなことでした。地域で活躍、羽ばたく東中生の姿**をより多く先生方に見ていただけたらと思います。



保護者や地域の方への一番の貢献は、日々の学校生活を充実したものにし、それぞれが東中生らしく立派に成長していくことだと思います。教育活動の枠をこうしてさらに広げることで、その学びを通して、飛躍的に成長することもあり、これからも「地域で貢献」の活動を少しずつ取り組んでいきたいです。